

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0006
 住 所 川崎市川崎区砂子2-11-1
 氏 名 川崎信用金庫
 理事長 草壁 悟朗

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎信用金庫		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区砂子2-11-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	J	金融業, 保険業
	中分類	63	協同組織金融業
主たる事業 の内容	地域金融機関		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,683	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部
		所在地	川崎市川崎区砂子2-11-1
		電話番号	044-220-2223
		FAX番号	044-222-5839
		メールアドレス	soumu@kawashin.co.jp
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ~ 平成27年度 (報告年度27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,138 t-CO ₂ (調) 3,132 t-CO ₂	(実) 3,217 t-CO ₂ (調) 3,210 t-CO ₂	(実) 3,113 t-CO ₂ (調) 3,107 t-CO ₂	(実) 3,052 t-CO ₂ (調) 3,046 t-CO ₂	(実) 3,044 t-CO ₂ (調) 3,038 t-CO ₂
削減率		(実) -2.5 % (調) -2.5 %	(実) 0.8 % (調) 0.8 %	(実) 2.7 % (調) 2.7 %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出原単位等の値	0.05997	0.06148	0.05951	0.05835	0.05817
削減率		-2.5 %	0.8 %	2.7 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	平成25年度は、0Aシステム更改作業を本店で行ない、新旧両システムが稼動する期間が長くあった影響から、本店における電力使用量は前年を8.7%上回った。営業店においては節電に努めたものの、金庫全体の使用量は2.0%前年を上回ることとなり、温室効果ガスの排出量に係る原単位は、基準年度を2.5%増となるとともに、排出量も2.5%増加した。
第2年度	平成26年度は全店をあげて節電に取り組み、電気使用量は減少。温室効果ガスの排出量に係る原単位も基準年度対比0.8%減少となった。
第3年度	平成27年度は、前年に引き続き照明器具の間引きや、クールビズ・ウォームビズ実施による空調の室温管理、また、19時退出の励行による夜間の照明・空調使用の削減により、電力使用量は前年度を2.18%下回った。最終年度の実績としては、目標排出量に対して8t-co ₂ 超過し、達成することができなかった。照明器具・空調設備の省エネ型への更新を、もっと多くの店舗で進める必要があったものと考えます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○設備面は総務部主体、運用面は全店の推進体制で省エネに取り組む ○本店設備の更新 ○支店、有人出張所設備の更新 ○無人出張所設備の更新 ○本支店事務所等の節電管理
	第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○本店設備の更新（屋上・C階段照明更新、B1・1・2・8・9階空調機更新） ○支店、有人出張所設備の更新（4店舗で照明更新、（9店舗で空調機更新） ○本支店事務所等の節電管理（空調に関しては冷房は室温28度、暖房は20度以下を徹底。照明に関しては、50%程度の間引きを継続実施）
	第 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○支店、有人出張所設備の更新（4店舗で照明更新、3店舗で空調機更新） ○本支店事務所等の節電管理（空調に関しては冷房は室温28度、暖房は20度以下を徹底。照明に関しては、50%程度の間引きを継続実施）
	第 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○設備面は総務部主体、運用面は全店の推進体制で省エネに取り組むことができた。 ○本店設備については、屋上・C階段照明器具の更新、B1・1・2・3・8・9階の空調設備の更新が完了し、計画を達成した。 ○支店、有人出張所設備については、11店舗で照明器具を更新、18店舗で空調設備を更新し、計画をほぼ達成した。 ○本支店事務所等の節電管理については、空調に関しては冷房は室温28度、暖房は20度以下を徹底し、照明に関しては、50%程度の間引きを実施し、計画通り推進できた。
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	第3号該当せず
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	特になし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境に配慮した金融商品の取扱 2. コピー紙、トイレtpペーパーの再生紙利用 3. 粗品の一部（ポケットティッシュ）を環境に配慮したものを使用 4. クールビズ、ウォームビズの実施 5. 廃棄物の減量化・分別化の推進
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境に配慮した金融商品の取扱 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した車の購入やリフォームに対するローン金利の引き下げ ・環境配慮型定期預金を取扱い残高の一定割合を基金へ寄付 2. コピー紙・トイレtpペーパーの再生紙利用 3. 粗品のポケットティッシュは環境に配慮したものを使用 4. クールビズ・ウォームビズの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・冷房28度、暖房20度以下の設定を徹底 ・クールビズについては期間を延長し、空調使用を抑制 5. 廃棄物の分別化を推進し、再資源化に努めた
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境に配慮した金融商品の取扱 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した車の購入やリフォームに対するローン金利の引き下げ ・環境配慮型定期預金を取扱い残高の一定割合を基金へ寄付 2. コピー紙・トイレtpペーパーの再生紙利用 3. 粗品のポケットティッシュは環境に配慮したものを使用 4. クールビズ・ウォームビズの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・冷房28度、暖房20度以下の設定を徹底 ・クールビズについては期間を延長し、空調使用を抑制 5. 廃棄物の分別化を推進し、再資源化に努めた
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境に配慮した金融商品の取扱 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した車の購入やリフォームに対するローン金利の引き下げ ・環境配慮型定期預金を取扱い残高の一定割合を基金へ寄付 2. コピー紙・トイレtpペーパーの再生紙利用 3. 粗品のポケットティッシュは環境に配慮したものを使用 4. クールビズ・ウォームビズの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・冷房28度、暖房20度以下の設定を徹底 5. 廃棄物の分別化を推進し、再資源化に努めた

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,303	t-CO ₂
(調)	3,248	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
本店	川崎市川崎区砂子2-11-1	6300	主として管理事務を行なう本社等	1,668 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	72

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--